

氏名	須永 康代	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	生体運動学, ウィメンズヘルス理学療法学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科卒業、2011年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程前期修了、2018年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程後期修了				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助手、2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教、2020年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会 (役職)	一般社団法人日本理学療法学会連合 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 (総務担当理事)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 (学術集会企画運営委員、評議員)、専門リハビリテーション研究会 (学術編集部長)、日本母性衛生学会 (査読員)、臨床歩行分析研究会、日本女性骨盤底医学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新しいIPWを学ぶ 利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携 第4章 IPWを实践できる人材を育てる-IPEとその展開 6諸分野における教育課程とIPE 2) 理学療法学分野	共著	あり	中央法規出版 288	埼玉県立大学 編	2022年4月
2	地域理学療法アクティブ・ラーニング・テキスト 地域理学療法学 第12章 ウィメンズヘルス・メンズヘルス	共著	あり	文光堂 319	日高正巳, 有馬慶美, 加藤研太郎, 須永康代	2022年12月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	知っておきたい・深めたい Close-up ウィメンズヘルス 産前産後 産前女性への理学療法アプローチ	単著	なし		理学療法ジャーナル, 56 (4), 455-458	須永康代
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	産後女性に対する理学療法実施状況に関する実態調査	共同		第8回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会, 川崎市	○須永康代, 平元奈津子, 森明子, 漆川沙弥香, 山崎愛美, 布施陽子, 武田要	2022年11月
2	健常若年女性の片脚着地動作における体幹筋活動と月経周期の関連	共同		第8回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会, 川崎市	○小管倭子, 松本優佳, 川端陸, 須永康代, 金村尚彦	2022年11月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科研費基盤 (C)			骨盤ベルトによる姿勢制御戦略への波及効果の妊娠中から産後に至るまでの継続的検証	研究代表者	2020.4-2023.3
2	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト研究費			妊産婦の健康課題解決に向けた子育て世代地域包括ケアシステム構築のための実証研究	研究代表者	2022.4-2024.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	発達障害理学療法学	○	3	運動発達や動作の発達について画像や動画を活用して講義を行った。		
2	神経障害理学療法学	○	3	神経疾患とその理学療法について画像や動画を活用して講義を行った。		

3	理学療法応用技術学B（予防・産業）	○	8	産業保健における健康問題について、グループワークを交えて講義を行った。
4	ウィメンズヘルス理学療法学	○	8	女性のライフサイクルにおける変化と特徴的な疾患についての講義と理学療法評価・治療に関する実技を行った。さらに文献抄読を通して理解を深めた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法研究法演習		0.5	ウィメンズヘルス理学療法領域の研究について紹介し、最新の情報を提供できるよう工夫した。
2	理学療法セミナー（OSCE1）		8	臨床教育実習に向けた問診や医療面接技術を習得できるよう、客観的臨床能力試験（OSCE）の運営を行った。
3	理学療法セミナー（OSCE2）		8	臨床教育実習に向けた理学療法評価やプログラム立案・実施について習得できるよう、客観的臨床能力試験（OSCE）の運営を行った。
4	理学療法特別演習		0.5	人間発達学・小児理学療法分野における国家試験の過去の出題傾向をふまえた演習を行い、国家試験に向けたサポートを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		14	グループワークでの活発なディスカッション、円滑な進行が行えるようファシリテートを行った。
2	運動学実習		20	歩行分析、筋活動について、実習を通して手法を学び、生じた結果に対する考察により理解を深めるよう指導を行った。
3	発達障害理学療法学実習		5	正常発達、発達障害児における理学療法評価およびアプローチの実践について授業を行い、理解を深めた。
4	神経障害理学療法学実習		3	脊髄損傷の理学療法について、動画を用いて概説しながら実習を行い、理解を深めた。
5	臨床教育実習Ⅰ		2023.2.20-2023.3.4	2年次生を対象に2週間の検査・測定実習を実施した。実習中は実習指導者との状況確認を行い、実習後は学生の報告をもとにフィードバックを行った。
6	臨床教育実習Ⅱ		2022.9.26-2022.10.29	3年次生を対象に5週間の評価実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
7	臨床教育実習Ⅲ		2022.4.18-2022.6.11	4年次生を対象に6週間の臨床実習、学内補充実習での発達障害理学療法学領域における授業（4コマ）を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
8	臨床教育実習Ⅳ		2022.6.27-2022.7.30	4年次生を対象に3週間の地域/特定領域実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4-2022.12	主指導 3	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	3年次学年副担任	2022.4-2023.3	ガイダンス、面談等を実施し、学生生活の支援を行った。	
2	ゼミ担当	2022.4-2023.3	1～4年次生を対象にゼミ活動を通して学生間の交流を図ることができた。3・4年次のゼミ生には、卒業研究に向けた研究指導を行った。	
3	藤リハビリテーション学院 非常勤講師	2022.10	藤リハビリテーション学院の運動療法を非常勤講師として4コマ担当した。	
4	春日部市立看護専門学校 非常勤講師	2022.9	春日部市立看護専門学校の解剖生理学Ⅱを非常勤講師として4コマ担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学 理学療法学科臨床育実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学 理学療法学科	ウィメンズヘルス理学療法の基礎と実践	2022.8

2	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学 地域産学連携セ ンター	マタニティ・産後の骨盤ケア教室	2022.11-2023.3
3	録画配信セミナー	日総研出版	妊娠期から産後の身体の変化と骨盤周囲のケア	2022.8
4	佐野厚生総合病院 勉強会	佐野厚生総合病院	骨盤底筋体操	2023.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	一般社団法人日本理学療法学会連合 日本ウィメンズヘル ス・メンズヘルス理学療法研究会		学会連合総務委員会委員, 総務担当理事	2022.6-2024.6
2	一般社団法人日本理学療法学会連合 日本ウィメンズヘル ス・メンズヘルス理学療法研究会		第8回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法 研究会学術大会 準備委員	2021.4-2023.2
3	日本母性衛生学会		査読員	2019.4-2023.3
4	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会		理事	2021.4-2023.3
5	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会		第13回学術集会企画運営委員	2022.4-2022.12
6	専門リハビリテーション研究会		学術編集部部长	2022.4-2023.3
7	草加市男女共同参画専門委員		委員	2022.4-2023.3
8	社会福祉法人みんなぎ		評議員	2020.4-2023.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	日本シグマックス(株)	妊産婦を対象とした骨盤支持ベルトの開発及び効果検証に関する共同 研究	2022.4-2023.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ダイバーシティ推進委員会委員		2022.4-2023.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2022.4-2023.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会員		2022.4-2023.3
4	学科等における委員会等	OSCE運営担当		2022.4-2023.3
5	大学広報活動	本学広報のための高校訪問、オープンキャンパス		2022.4-2023.3
6	学生支援	3年次生副担任		2022.4-2023.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	奨励賞 (共同演者)	第8回日本ウィメンズヘルス・ メンズヘルス理学療法研究会学 術大会		2022.11
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			